

京都のくるわと芸能研究会

第二回 シンポジウム

# 日本文化と〈性〉

絵画×渡来人×信仰・宗教×芸能・芸道

平成23年10月2日(日) 開演 14時 開場 13時30分

京都芸術劇場 春秋座 [京都造形芸術大学内]

本学の田口章子教授を中心に三年計画で2009年に発足した「京都のくるわと芸能研究会」。これまでの研究活動と昨年のシンポジウムでの成果を受け、今回はさらに視点を拡大し、「絵画」「渡来人」「信仰・宗教」「芸能・芸道」の4つのテーマの専門家をお招きし、「日本の文化と〈性〉」の具体的なお話をしていただきます。座談を通して限りなく学術的に〈性〉をとらえ、日本文化全体の本質に迫ります。

Japanese Culture  
and «Sex»

# 日本文化の秘密を解く鍵——〈性〉

〈性〉ということばには、生物的存在としての男女の性差、いわゆる〈セックス〉と、社会的・文化的存在としての男女の性差、いわゆる〈ジェンダー〉の二つの意味をこめています。キリスト教圏、イスラム教圏などの一神教世界では抹殺されたり弾圧されたりした女神が、多神教の日本人社会の信仰の中心を占め続けてきました。沖縄の〈おなり神〉、本土の〈妹の力〉など女性の霊性に対する信仰は今も生きています。このわずかな例からも明らかのように、〈性〉はことに日本文化の秘密を解く鍵です。

論理や秩序、意志などの特質を男性原理とよび、感情や調和、優しさなどを女性原理とよぶことがあります。各方面にわたって、日本文化には過剰に女性原理が表出されています。その事実は今回の東日本大震災でも証明されました。

今回は、芸能と芸道の独自の視点から日本文化論を展開する諏訪春雄氏、春画を独自の切り口でとらえ文化の中心に引つ張りだした田中優子氏、韓国民俗研究の第一人者崔吉城氏、日本の神仏観を探究する気鋭の宗教学者鎌田東二氏にご参加いただき、さらに具体的な〈性〉と日本文化の関係性とその本質を探究します。

パネリスト

## 芸能・芸道

諏訪春雄 (学習院大学名誉教授)

## 渡来人

崔吉城 (東亜大学人間科学部教授・広島大学名誉教授)

## 絵画

田中優子 (法政大学社会学部教授)

## 宗教・信仰

鎌田東二 (京都大学こころの未来研究センター教授)

司会進行

田口章子 (京都造形芸術大学教授・舞台芸術研究センター主任研究員)

京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター主催

## 京都のくるわと芸能研究会 第二回 シンポジウム

# 日本文化と〈性〉

平成23年10月2日(日) 開演14時 開場13時30分

## 京都芸術劇場 春秋座 [京都造形芸術大学内]



### □料金(全席自由)

500円  
瓜生山学園生 無料

### □チケット発売開始日

平成23年6月27日(月)

### □チケット取扱い

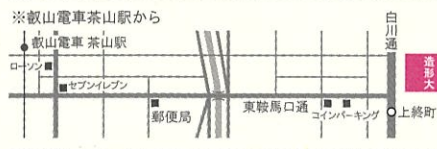
●京都芸術劇場チケットセンター  
窓口販売・電話予約  
TEL 075-791-8240(平日10時~17時)

●劇場オンラインチケットストア  
パソコンから <http://www.k-pac.org/theatre/>  
携帯から <http://www.k-pac.org/theatre/m/m>  
※要事前登録(無料)

### □主催・お問合わせ

京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター  
〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山2-116  
TEL 075-791-9207 FAX 075-791-9438  
URL <http://www.k-pac.org/>

京都芸術劇場 春秋座 [京都造形芸術大学内]  
〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山2-116



●JR・近鉄京都駅、京阪三条駅、阪急河原町駅から  
京都市バス5番「岩倉」行き乗車、  
「上終町・京都造形芸大前」下車  
(京都駅から約50分、三条駅・河原町駅から約30分)

●京都市営地下鉄丸太町駅・北大路駅から  
京都市バス204循環に乗車、  
「上終町・京都造形芸大前」下車(約15分)

●京阪電車出町柳駅から  
叡山電車に乗り換え、茶山駅下車 徒歩約10分

※駐車場はございませんので、お車・バイクでの  
ご来場はお断りします。